

<会議資料>

平成26年度

第1回 練馬区立美術館運営協議会

練馬区立美術館

(平成26年9月4日)

平成26年度（第1回）練馬区立美術館運営協議会 資料目次

1 . 練馬区立美術館運営協議会委員名簿	1
2 . 練馬区立美術館運営協議会条例	2
3 . 平成25年度 事業報告	
(1) 展覧会事業	
平成25年度 展覧会事業日程および観覧者数	4
平成25年度 企画展・コレクション展関連事業	6
平成25年度 広報活動と反響	7
(2) 教育普及事業	
平成25年度 教育普及事業実績	12
平成25年度 博物館実習受入実績	21
平成25年度 美術館サポーター - 活動実績	22
(3) 美術作品の収集事業	
平成25年度 美術作品の収蔵状況	23
平成25年度 収蔵品貸出一覧	24
平成25年度 美術館収蔵品データベースに対する反響	25
(4) 施設利用状況	
平成25年度 施設利用状況	26
(5) ぐるっとパスの利用状況	
平成25年度ぐるっとパスの利用状況	27
4 . 平成26年度 事業計画	
(1) 展覧会事業	
平成26年度 展覧会事業日程	28
松林桂月展	29
コレクション展	30
N+N展	31
「あしたのジョー、の時代」展	32
「見つめて、シェイクスピア！」展	33
俵有作展	34
(2) 教育普及事業	
平成26年度 教育普及事業計画	35
(3) 美術作品の収集事業	
平成26年度 美術作品の収蔵状況	38
平成26年度 美術作品取得状況	39
5 . 美術の森緑地整備工事および美術館の展示等の予定 について	42
6 . 美術館の指定管理者候補の選定手続きについて	47

第 15 期 練馬区立美術館運営協議会委員名簿

平成 26 年 9 月 4 日現在

		氏 名	役 職	
学識経験者	委員	あわづ のりお 粟津 則雄	文芸評論家	
	委員	たかはし こうじ 高橋 幸次	日大芸術学部 美術学科教授	
	委員	あおき しげる 青木 茂	明治美術学会会長	
	委員	いずい ひでかず 伊豆井 秀一	埼玉県立近代美術館 専門員兼学芸員	
	委員	おおはし こうや 大橋 皓也	洋画家	
	委員	さとう やすひろ 佐藤 康宏	東京大学教授	
	委員	しまだ のりお 島田 紀夫	実践女子大学名誉教授	
	委員	いゝ しょういちろう 井出 洋一郎	府中市美術館長	
練馬区議会議員	委員	あがわ けいこ 小川 けいこ	区議会議員	
	委員	まつむら りょういち 松村 良一	区議会議員	
	委員	つちや としひろ 土屋としひろ	区議会議員	
	委員	さわむら しんたろう さわむら信太郎	区議会議員	
公募区民	委員	なかざわ ひろむ 中澤 弘生	公募区民	
	委員	くわた まりこ 暮田 麻里子	公募区民	
	委員	ひらやなぎ けいこ 平柳 慶子	公募区民	
美術関係者	委員	いとう ただお 伊藤 定夫	練馬・文化の会代表	
	委員	みやざわ としお 宮澤 歳男	練馬区美術家協会	
学校教育関係者	委員	ほりい やすのぶ 堀井 安伸	石神井東中学校	
	委員	もりた としひろ 森田 敏裕	大泉第一小学校	

練馬区立美術館運営協議会条例

昭和 60 年 10 月 8 日

条例第 45 号

(設置)

第 1 条 練馬区立美術館(以下「美術館」という。)の運営方針および事業計画を協議するため、練馬区立美術館運営協議会(以下「協議会」という。)を置く。

(所掌事項)

第 2 条 協議会は、区長の諮問に応じてつぎに掲げる事項について審議し、答申する。

- (1) 美術館の運営方針に関すること。
- (2) 美術館の事業計画に関すること。
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事項

2 協議会は、前項各号に掲げる事項について、区長に意見を述べることができる。

(定数)

第 3 条 協議会は、委員 19 人以内をもって組織する。

(委員)

第 4 条 委員は、つぎの各号に定めるところにより、区長が委嘱する。

- (1) 学識経験者 8 人以内
- (2) 練馬区議会議員 4 人以内
- (3) 区民 3 人以内
- (4) 美術団体関係者 2 人以内
- (5) 学校教育関係者 2 人以内

2 前項第 3 号に規定する区民は、公募により選任するものとする。

(任期)

第 5 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、委員に欠員が生じた場合における補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長および副会長)

第 6 条 協議会に会長および副会長を各 1 人置く。

2 会長および副会長は、委員が互選する。

3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第 7 条 協議会は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 会議の議長は、会長が務める。

4 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決する

ところによる。

- 5 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くことができる。

(部会)

第8条 協議会は、第2条第1項に規定する事項について調査検討を行うため、部会を置くことができる。

2 部会は、会長の指名する委員をもって組織する。

3 部会は、協議会の求めがあったときは、必要な事項を報告しなければならない。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、美術館において処理する。

(委任)

第10条 この条例の施行について必要な事項は、練馬区規則で定める。

付 則 この条例は、公布の日から施行する。

付 則 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

3 平成25年度事業報告

(1) 展覧会事業

平成25年度 展覧会事業日程および観覧者数

企画展等

開催期間	展覧会	開催 日数	観覧者目標 (1日当り)	観覧者実数 (1日当り)	目標比 (%)
4月14日(日) ～6月2日(日)	牧野邦夫 写実の精髓	43	11,760 (280)	17,415 (405)	148.1%
6月27日(木) ～7月7日(日)	N+N2013(練馬区立美術館・日大芸術学部合同展) アートいいいいいばあ アートの思考法	10	2,000 (200)	2,232 (223)	111.6%
7月14日(日) ～9月8日(日)	鹿島茂コレクション3 モダン・パリの装い - 19世紀から20世紀初頭のファッション・ブ レート	50	12,250 (245)	8,994 (180)	73.4%
9月15日(日) ～11月24日(日)	生誕120年 宮芳平展 野の花として生きる。	61	10,000 (164)	6,718 (110)	67.2%
2月16日(日) ～4月6日(日)	野口哲哉の武者分類図鑑展	43	8,000 (186)	19,227 (447)	240.3%
合 計		207	44,010 (213)	54,586 (264)	124.0%
前年度		212		36,113 (170)	前年度比 151.2%

2階常設展示室によるコレクション展

観覧者数は、同時開催の企画展がある場合はその観覧者数、ない場合は常設展示室の入場者数から

開催期間	展覧会	開催 日数	観覧者目標 (1日当り)	観覧者実数 (1日当り)	目標比 (%)
6月7日(金) ～7月7日(日)	練馬区立美術館コレクション展 シリーズ時代と美術1 1930年～50年代前半 伸縮する内と外 霞光 花と蝶を中心に	27	6,250 (231)	6,515 (241)	104.2%
11月29日(日) ～2月11日(月・祝)	渡辺千尋 復刻の聖母展	60	8,360 (139)	13,962 (233)	167.0%
合 計		87	14,610 (168)	20,477 (235)	140.2%
前年度		83	観覧者数 1日当り	21,944 (264)	前年度比 93.3% 89.0%

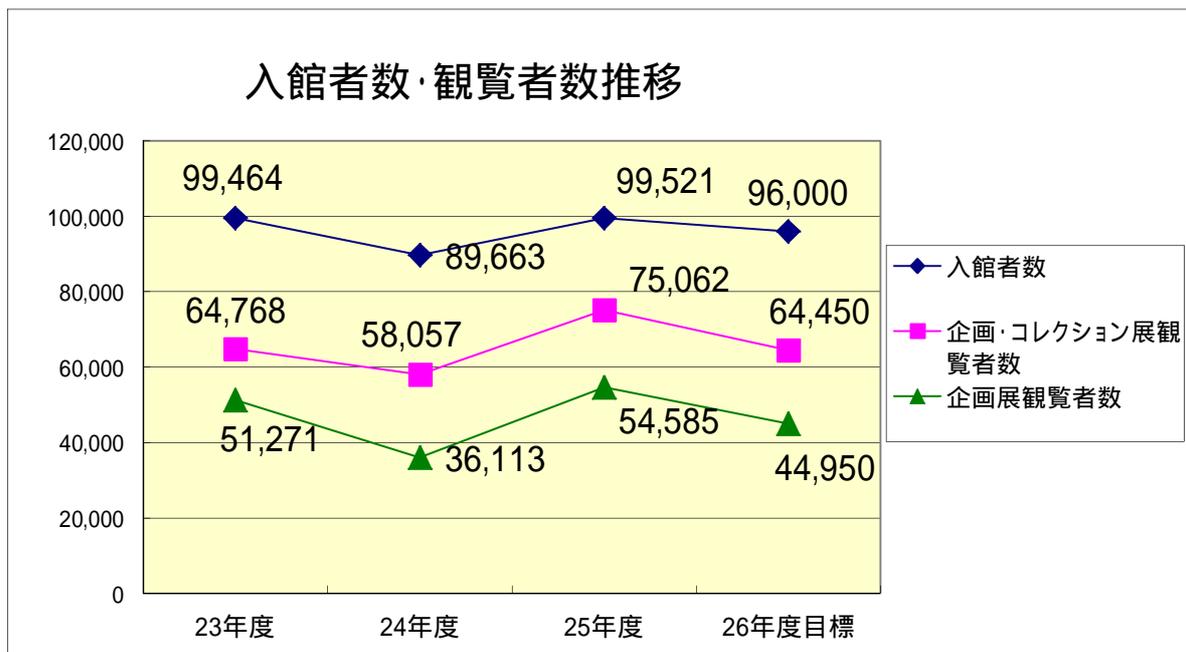
企画展・コレクション展観覧者数(実数)比較	24年度	25年度	前年度比
	58,057	75,063	129.3%

牧野邦夫展はテレビ東京「美の巨人」(視聴率5.5%)で取り上げられた日を契機に新聞、雑誌、WEBでの掲載、口コミが拡がり来館目標の5割増しであった。鹿島茂コレクション展、宮芳平展は目標を下回ったが、クオリティー高く、美術界、美術ファンのお話となった。コレクション展は、同時開催の学校展などの流れを受け、目標をはるかに上回った。「時代と美術シリーズ」は当館のコレクションを4回で紹介するもので、順調なスタートを切った。渡辺千尋展はNHKの日曜美術館で取り上げられ、その精緻なエンゲレービング(銅版画)は多くの人を魅了した。野口哲哉展は、マスコミ、WEBで大きく取り上げられ日を追う毎に盛況になり、最終的には19,227人と目標の2.4倍となった。

各種展覧会

開催期間	展覧会	開催日数	観覧者実数 (1日当り)	
6月7日(金) ～6月16日(日)	第59回練馬区美術家協会展	9	1,401 (156)	
1月11日(土) ～1月15日(水)	中学校生徒作品展	4	3,396 (849)	
1月18日(土) ～1月23日(木)	小学校連合同工展	5	9,504 (1,901)	
1月25日(土) ～1月26日(日)	小・中学校連合書初め展	2	11,432 (5,716)	
2月1日(土) ～2月9日(日)	第44回練馬区民美術展	8	2,182 (273)	
合 計		28	27,915 (997)	前年度比 104.8%
前年度		29	26,649 (919)	

入館者数比較	24年度	25年度	前年度比
	89,663	99,521	111.0%



平成25年度 企画展・コレクション展関連事業

1 「牧野邦夫 - 写実の精髓」展 (平成25年4月14日～6月2日)		
(1) ゲストによるスペシャルトーク	4回	450人
(2) 読み語り	1回	75人
(3) コンサート	2回	280人
	計	805人
2 練馬区立美術館コレクション展 シリーズ 時代と美術1 (平成25年6月7日～7月7日)		
(1) ギャラリートーク	2回	60人
(2) ワークショップ	1回	19人
(3) 鑑賞プログラム	2回	20人
	計	99人
3 N+N展 2013 アートいないないばあ アートの思考法 (平成25年6月27日～7月7日)		
(1) ワークショップ	1回	20人
(2) アーティストトーク	1回	40人
(3) シンポジウム	1回	50人
	計	110人
4 鹿島茂コレクション3 モダン・パリの装い 「アートいないないばあ - アートの思考法 - 」 (平成25年7月14日～9月8日)		
(1) ワークショップ	9回	120人
(2) 講座	1回	20人
(3) ギャラリートーク	1回	150人
(4) 講演会	2回	140人
(5) コンサート	1回	160人
(6) 読み語り	1回	73人
	計	663人
5 「生誕120年 宮芳平展 - 野の花として生きる。」 (平成25年9月15日～11月24日)		
(1) ギャラリートーク	7回	328人
(2) 講演会	1回	51人
(3) コンサート	1回	130人
(4) 読み語り	1回	70人
	計	579人
6 渡辺千尋 - 復刻の聖母 - 展 (平成25年11月30日～2月9日)		
(1) ゲストトーク	1回	60人
(2) ギャラリートーク	2回	60人
(3) 舞踏	1回	60人
(4) 鑑賞プログラム	2回	60人
	計	240人
7 「野口哲哉の武者分類図鑑」展 (平成26年2月16日～4月6日)		
(1) ゲスト×アーティストトーク	3回	630人
(2) 講演会	1回	64人
(3) 読み語り	1回	57人
(4) 記念コンサート	1回	144人
	計	895人

参加者数計 3,391人
(24年度 2,797人)

平成 25 年度 広報活動と反響

1. 広報活動の取り組み

方針 多様な媒体を利用し、周知・集客に努める。
コレクションを使った常設展(小規模展)の広報も積極的に行う。

(1) 展覧会のチラシ・ポスターの印刷

(2) 「美術館ニュース」の発行(年 1 回)

(1)(2)は全国美術館、関係者、区内施設等に発送

展覧会のポスターは、町会掲示板にも掲出依頼

(3) 美術館ホームページ

平成 23 年 7 月からブログ開始。

ホームページ内の収蔵作品データベースへの平成 25 年度年間アクセス数は、10,460 件。

(4) マスコミへの情報発信

新聞・雑誌・地域コミュニティ紙・ウェブサイト等にプレスリリースを発信し、主に掲載料無料のものを利用している。

25 年度の牧野邦夫展、鹿島茂展、宮芳平展、渡辺千尋展、野口哲哉展で美術関係の PR 会社にリリース配信を委託。

(5) 交通広告

年間を通して中村橋駅に案内看板を設置。

企画展覧会によってポスターの駅貼り広告等。

(6) 新聞広告

平成 25 年度は、行わず。

(7) その他

ぐるっとパス 平成 23 年度から実施

ミューぼん 平成 22 年 12 月 2 日から

2. 平成 25 年度展覧会に対する反響

(1) 牧野邦夫 写実の精髓 展 (平成 25 年 4 月 14 日～6 月 2 日)

<テレビ・ラジオ>

テレビ東京「美の巨人たち」 4 月 27 日 (BSジャパンにて 5 月 22 日再放送)

NHK「日曜美術館アートシーン」 5 月 12 日

FM東京「クロノス」 5 月 3 日

<新聞>

日本経済新聞 4 月 21 日朝刊、5 月 2 日夕刊、5 月 22 日朝刊

毎日新聞 5 月 15 日夕刊

産経新聞 5 月 19 日朝刊

朝日新聞 5 月 22 日夕刊

読売新聞 5 月 30 日朝刊

新美術新聞 4 月 1 日

美じょん新報 6 月 20 日

<美術雑誌>	
美術手帖 4月号、7月号	ART collectors 3月号、7月号
トーキングヘッズ叢書 No.54	
<雑誌>	
週刊文春 5月23日号	週刊ポスト 5月31日号
<WEB>	
日本経済新聞Web刊	msn産経ニュース
インターネットミュージアム	G-Call
Let's Enjoy TOKYO	展覧会へ行こう
Annual online	art scene
Museum Cofe	Web美術館 2013
TOKYO ART BEAT	

(2) 練馬区立美術館コレクション展 シリーズ時代と美術1

「1930～50年代前半 伸縮する内と外 露光 花と蝶 を中心に」(平成25年6月7日～7月7日)

<新聞>	
東京新聞 木曜朝刊「ほとなび 情報の道しるべ」	
週刊新聞新かながわ 6月16日	
<美術雑誌>	
月刊展覧会ガイド	月刊ギャラリー 6月号
<WEB>	
練馬経済新聞	Let's Enjoy TOKYO

(3) N+N展 2013 アートいいいいないばあ アートの思考法 (平成25年6月27日～7月7日)

<WEB>	
練馬経済新聞	Let's Enjoy TOKYO

(4) 鹿島茂コレクション3 モダン・パリの装い 19世紀から20世紀初頭のファッション・プレート

(平成25年7月14日～9月8日)

<新聞>	
読売新聞 6月20日、8月2、6、9日朝刊、8月7、13日夕刊	
朝日新聞 7月17日夕刊	産経新聞 8月15日朝刊
毎日新聞 8月12日夕刊	日本経済新聞 7月20日夕刊
信濃毎日新聞 8月8日	日本印刷新聞
<美術雑誌>	
ART collectors 7月号	芸術新潮 8月号
<雑誌>	
OZ magazine 8月号	コンフォルト 8月号
パンプキン 8月号	月刊MOE 9月号
潮 8月号	CURIO 7月号

月刊イザナギ 7月号 婦人公論 8月22日号	クロワッサン 8月25日号 翼の王国 8月号
<地域情報誌>	
びいーゆ 7月号 池袋15' 7月号、8月号 光が丘ima'am 7・8月号 月刊武州路 7月号	西武ニュース 7月号 METROPOLIS 定年時代 8月上旬号
<WEB>	
インターネットミュージアム Let's Enjoy TOKYO ぶらり美術館 展覧会へ行こう 日本美術倶楽部 大人のカルチャーガイド 練馬経済新聞 個展なび HP・メールマガジン	HMV ONLINE エルパカBOOKS Art inn VOGUE COM. WWD マイナビ G-Call FASHION PRESS 情報宅配便 きたくん ハロードクター

(5) 宮芳平展 野の花として生きる。(平成25年9月15日～11月24日)

<テレビ・ラジオ>	
NHK「日曜美術館アートシーン」 11月10日 FM東京「クロノス」 11月1日	
<新聞>	
読売新聞 8月22日朝刊、9月5、25、26、29日 朝日新聞 10月2日夕刊 毎日新聞 11月11日夕刊 愛媛新聞 10月4日 新潟日報 10月8日 高知新聞 10月8日	
産経新聞 11月7日 東亜日報 10月2日 静岡新聞 10月7日 岐阜新聞 10月8日 新美術新聞 8月1、21日	
<美術雑誌>	
美術の窓 9月号 ART collectors 9月号 月刊展覧会ガイド	一枚の絵 9月号 書道界 10月号
<雑誌>	
週刊ポスト 10月25日号 CURIO 11月号	おとなのぴあ 秋冬号
<地域情報誌>	
池袋15' 月刊武州路 10月号	光が丘ima'am

<WEB>	
Let's Enjoy TOKYO	G-Call
ぶらり美術館	展覧会へ行こう
アミューズ	個展なび
HP・メールマガジン	

(6) 渡辺千尋 復刻の聖母 展 (平成 25 年 11 月 30 日～平成 26 年 2 月 9 日)

<テレビ・ラジオ>	
NHK「日曜美術館アートシーン」 1月5日	
<新聞>	
毎日新聞 11月28日朝刊	美じょん新報 第172号
<美術雑誌>	
月刊展覧会ガイド 1月号	芸術新潮 12月号
月刊ギャラリー 12月号	
<地域情報誌>	
池袋15' 1月号	
<WEB>	
Let's Enjoy TOKYO	

(7) 野口哲哉展 野口哲哉の武者分類図鑑 (平成 26 年 2 月 16 日～平成 26 年 4 月 6 日)

<テレビ・ラジオ>	
NHK「日曜美術館アートシーン」 3月9日	
BS日テレ「ぶらぶら美術・博物館」 3月14日	
TOKYO MX「美術館へ行こう」 3月13、14日	
J-COM ジモトピ 3月3日～9日	
JCN北テーブル「情報宅配便きたくん」 1月31日～2週間	
NHK国際放送	
<新聞>	
朝日新聞 1月15日朝刊、2月5、14、16日朝刊、18、26日夕刊、3月26日夕刊	
東京新聞 2月13日朝刊	産経新聞 3月13日
日本経済新聞 3月15日	読売新聞 3月27日朝刊
The Japan News by The Yomiuri Shinbun 3月8日	
新美術新聞 3月1日、7月1日	
<美術雑誌>	
ART collectors 3月号	美術手帖 3月号
芸術新潮 3月号	トーキングヘッズ叢書 No.57
美術の窓 2月号	目の眼 4月号
月刊ギャラリー 2月号	月刊美術 3月号

<雑誌>	
Men's Non-no 4月号	歴史群像 4月号
eclat 4月号	SPA 3/18・25 合併号
arch 2月号	CURIO 2月号
ノジュール 2月号	コンフォルト
懸賞なび 3月号	エール
歴史発見vol.2 歴史群像 3月号別冊	
<地域情報誌>	
メディアあさお 2月号	池袋15' 2、3、4月号
月刊武州路 2月号	荻窪百点 296号
<WEB>	
WEBフェーマス	インターネットミュージアム
東洋経済ONLINE	クラブオフNavi
Let's Enjoy TOKYO	ぶらり美術館
G-Call	WEB Domani
CREA WEB	旅ぶくろ
展覧会へ行こう	公募展検索サイトART公募
歴史人	練馬経済新聞
イベニア	to-co-to
日本美術倶楽部	JR東日本旅ときnet
個展なび	

3. 展覧会放送・掲載回数

	25年度	24年度	23年度	22年度
テレビ・ラジオ	13	12	11	11
新聞	55	57	62	62
美術雑誌	25	27	29	28
地域情報誌・その他の雑誌	44	47	39	44
WEB	60	49	35	31
計	197	192	176	176

その他ブログ・ツイッターなど多数

とりわけ、牧野邦夫、鹿島茂、野口哲哉展は急速な拡がりを見せた。

(2) 教育普及事業

平成25年度 教育普及事業実績

1 館内事業

） 展覧会関連 (各展覧会を楽しむ)

関連ワークショップ・講座

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加		
N+N展 関連ワーク ショップ	6月29日(土) 14:00～17:00	海老沢 一仁 (造形作家/アトリエこ えび代表)	ベニヤ板にマスキングテ ープを貼って絵や模様を描 いた後上からローラーで絵 の具を塗り乾いたらはが す。好きな部分を切り取っ て各自持ち帰った	小学生以上	無料	20	26	20		
コレクション展 関連ワーク ショップ	7月7日(日) 13:30～17:00	真子 みほ (当館学芸員)	作品を鑑賞した後「一つに つながっていること」を条件 に自由な形、材料で年表を 作った	小学生以上	300	20	20	19		
鹿島コレクション 3 関連美術講座	8月3日(土) ～4日(日)	齋藤 美穂子 (町田市国際版画美術 館普及係学芸員)	展覧会鑑賞後、2日間かけ て木版リトグラフに挑戦し た。プレス機の代わりに足 で踏み、同じ班から4種類 ほどの作品を生み出した	小学生	1,000	20	37	20		
鹿島コレクション 3 関連ワーク ショップ	ぼんぼんステンシル いろんな型紙で絵 を描こう[A]	8月2日(金) 13:30～17:00	展覧会でポショワールの作 品を鑑賞後、厚紙を好きな 形にくり抜き型を作り、上か ら水彩絵の具を付けたスポ ンジ(布で綿を包み輪ゴム で止めたもの)で色を付け ていく。画用紙に練習した 後デザインボードに本番の 絵を描いた	小学生	300	20	33	19		
	ぼんぼんステンシル いろんな型紙で絵 を描こう[B]	8月9日(金) 13:30～17:00				20	20	18		
	ぼんぼんステンシル いろんな型紙で絵 を描こう[C]	8月10日(土) 13:30～17:00				20	26	18		
	100年前の Chapeau(シャポー) [A]	8月18日(日) 10:30～12:30		真子 みほ (当館学芸員)	19世紀と20世紀の流行の スタイルの中からシルクハッ ト、ナポレオンハット、ボン ネット、トーク帽の4種類を ピックアップし見本を作って おいた。 展覧会鑑賞後、4種類の中 からベースを選びアレンジ を加えて、各自色画用紙で 帽子を作った	小学生 + 保護者	一人 200	10組	14組 32名	8組 18名
	100年前の Chapeau(シャポー) [B]	8月18日(日) 14:00～16:00						10組	8組 18名	7組 16名
	100年前の Chapeau(シャポー) [C]	8月23日(金) 10:30～12:00				3～6歳 + 保護者	10組	7組 15名	6組 14名	
	100年前の Chapeau(シャポー) [D]	8月24日(土) 10:30～12:00					10組	3組 6名	3組 6名	
	100年前の Chapeau(シャポー) [E]	8月25日(日) 10:30～12:00					10組	4組 8名	3組 7名	
100年前の Chapeau(シャポー) [F]	8月25日(日) 14:00～15:30	10組	3組 6名	2組 4名						
						120	247	179		

計12回 参加者延179名

ギャラリートーク

事業名		日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
牧野邦夫展	ギャラリートーク 「ゲストによるスペシャルトーク、牧野邦夫へのまなざし」	4月20日(土) 15:00～	五味 文彦 (画家) × 野地 耕一郎 (当館学芸員)	ゲストと担当学芸員による ギャラリートーク		観覧料			40	
		5月4日(土) 15:00～	諏訪 敦 (画家) × 野地 耕一郎 (当館学芸員)			観覧料			80	
		5月18日(土) 15:00～	石黒 賢一郎 (画 家) × 野地 耕一郎 (当館学芸員)			観覧料			60	
		6月1日(土) 15:00～	山下 裕二 (明治学院大学教授) × 野地 耕一郎 (当館学芸員)			観覧料			270	
コレクション展	ギャラリートーク	6月9日(土) 13:30～	真子 みほ (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラ リートーク		無料			30	
		6月15日(土) 14:00～							30	
N+N展	アーティストトーク	6月30日(日) 14:00～	大槻孝之(出品作 家) 笹井祐子(出品 作家) × 藤原成一(評論家)	出品者によるギャラリート ーク		無料			40	
鹿島コレクション 3展	ギャラリートーク	7月27日(土) 15:00～	鹿島 茂 (フランス文学者)	出品者によるギャラリート ーク		観覧料			150	
宮芳平展	ギャラリートーク	9月21日(土) 15:00～	野地 耕一郎	担当学芸員によるギャラ リートーク		観覧料				
		9月28日(土) 15:00～							観覧料	
		10月12日(土) 15:00～							観覧料	
		10月19日(土) 15:00～	観覧料							
		10月26日(土) 15:00～	喜多 孝臣 (当館学芸員)						観覧料	
		11月2日(土) 15:00～	観覧料							
		11月16日(土) 15:00～	観覧料							
									328	
渡辺千尋展	ゲストトーク	12月21日(土) 14:00～	中林 忠良(東京芸術 大学名誉教授・版画 家)	作家縁のゲストによるギャラ リートーク		無料			60	
	ギャラリートーク	1月11日(土) 14:00～	小野 寛子 (当館学芸員)	担当学芸員によるギャラ リートーク		無料			30	
		2月1日(土) 14:00～							無料	30
野口哲哉展	ゲスト×アーティスト トーク	2月21日(金) 16:00～	山田 五郎(評論家) × 野口 哲哉	作家と3人のゲストによる対 談		観覧料			150	
		3月8日(土) 15:00～	山下 裕二 (明治学院大学教授) × 野口 哲哉						観覧料	160
		3月22日(土) 15:00～	諏訪 敦(画家) × 野口 哲哉						観覧料	320
									1778	

計20回 参加者延1,778名

講演会、シンポジウム等

事業名	日程	講師・パネリスト	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
N+N展関連シンポジウム	「アートで考える / アートを考える」 7月6日(土) 14:00 ~ 15:30	大西 若人(朝日新聞編集委員)、蔵屋 美香(東京国立近代美術館美術課長)、高橋 幸次(美術学科教授)、富井 大裕(出品作家、美術学科助教)	展覧会のテーマに合わせ、アートのあり方、現代の作家の姿勢などについて、話が展開された(於展示室)		無料			50
鹿島コレクション3関連特別講演会	「ファッション・プレートについて」 8月10日(日) 14:30 ~ 16:00	鹿島 茂 (フランス文学者、明治大学国際日本学部教授)	展示中のファッションプレートを中心に、19世紀から20世紀初頭の時代について御講演いただいた(於視聴覚室)	中学生以上	展覧会観覧料	70	229	78
	「浪漫衣装から現代衣服へ」 8月24日(土) 14:30 ~ 16:00	深井 晃子 (京都服飾文化財団チーフ・キュレーター)	19世紀から20世紀の衣服の変化、現代衣服の成立について御講演いただいた(於視聴覚室)	中学生以上	展覧会観覧料	70	87	62
宮芳平関連講座	「森鷗外と宮芳平ー文学と美術の交響ー」 11月23日(土) 15:00 ~ 16:30	山崎 一穎 (跡見学園理事長、森鷗外記念会会長)	宮と森鷗外の交流を、宮が残した文章や鷗外の日記などから探った(於視聴覚室)	中学生以上	展覧会観覧料	70	64	51
野口哲哉展記念講演会	「合戦場での目立ち方 甲冑と旗と陣羽織について」 2月22日(土) 15:00 ~	藤本 正行 (國學院大學兼任講師)	(於視聴覚室)	中学生以上	展覧会観覧料	70	71	64
						280	451	305

計5回 参加者延305名

コンサート・ライブパフォーマンス

事業名	日程	出演	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
牧野邦夫展関連	ラ・フォルジュルネ・オ・ジャポンによるスペシャルコンサート 4月27日(土) 15:00 ~ 16:00	長谷見 誠(フルート)、神永 睦子(ピアノ)			展覧会観覧料			130
	読み語り 5月11日(土) 15:00 ~ 16:30	銀河 万丈(声優)	江戸川乱歩「人間椅子」ほかの読み語り(貫井図書館共同主催)	中学生以上	展覧会観覧料	70	105	75
	フラメンコ・ギター コンサート 5月25日(土) 15:00 ~ 16:00	三澤 勝弘(スラメンコギター)、三澤 敦子(カンテ ソリスト)			無料			150
鹿島コレクション3関連	シャンソンコンサート 8月3日(土) 15:00 ~	広瀬 敏郎(シャンソン歌手)			無料			160
	読み語り 8月4日(日) 15:00 ~ 16:30	銀河 万丈(声優)	夢野久作「童貞」などの読み語り(貫井図書館共同主催)	中学生以上	展覧会観覧料	70	87	73
宮芳平展関連	読み語り 10月5日(土) 15:00 ~ 16:30	銀河 万丈(声優)	(貫井図書館共同主催)	中学生以上	展覧会観覧料	70	72	70
	記念コンサート 「宮芳平が愛聴していた楽曲」 11月9日(土) 15:00 ~ 16:00	大松 暁子 ヴァイオリン、塚田 誠(ピアノ)			無料			130

渡辺千尋展 連	舞踏	12月25日(水) 14:00～	吉本 大輔 舞踏 天空揺籃、高橋 理通子、石川 慶			無料			60
野口哲哉展 連	読み語り	3月1日(土) 15:00～16:30	銀河 万丈(声優)	菊池寛「形」ほかの読み語り(貴井図書館共同主催)	中学生以上	展覧会 観覧料	70	70	57
	記念コンサート	3月16日(日) 15:00～16:00	前田 善彦(チェロ)・塚田 誠(ピアノ)			展覧会 観覧料			144
									1049

計10回 鑑賞者延1049名

鑑賞プログラム

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加		
コレクション展	トコトコ美術館【A】 vol.10「花」	6月22日(土) 10:30～11:30	真子 みほ (当館学芸員)	展示作品の中から花が描かれている作品を各自探した後、エルサ・ベスコフ『リーサの庭の花まつり』の読み聞かせ、自分が花になるためのアイテム(ヘアバンド、剣、付け襟等)を色画用紙で制作した	3～6歳 + 保護者	無料	5組	12組 24名	5組 10名	
	トコトコ美術館【B】 vol.10「花」	6月22日(土) 14:00～15:00					5組	9組 18名	5組 10名	
渡辺千尋展	トコトコ美術館【A】 vol.11「線」	2月8日(土) 10:30～11:30					展示作品の中から線の表現を鑑賞した後、トミー・ワングラー『へびのクリクター』の読み聞かせ、針金を使った立体を制作した大雪の為欠席多	5組	12組 26名	2組 4名
	トコトコ美術館【B】 vol.11「線」	2月8日(土) 14:00～15:00						5組	11組 22名	1組 2名
									26	

計4回 参加者延26名

美術講座 (美術に関する知識を学ぶ)

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加	
西洋近代美術史	「19世紀フランス美術:印象派」	10月26日(土) 13:30～15:00	小野 寛子 (当館学芸員)	アカデミーの画家やバルビゾン派から印象派を経て抽象表現への一連の流れを、作品画像を投影しながら解説した	中学生以上	無料	50	94	49
油彩	「写真をもとに描く色の重なりを楽しむ絵画」(3日間)	1月26日(日) 13:30～17:00	小野 さおり (画家)	F4サイズのカンバスに油彩画を描いた。何度も薄く絵具を重ねていく技法で、丁寧に誰かに対する「ギフト」としての絵画を完成させた	中学生以上	2,000	20	55	20
		2月2日(日) 13:30～17:00							
		2月9日(日) 13:30～17:00							
石彫	「暮らしの中にみるかたち」(3日間)	3月9日(日) 10:30～17:00	大野 綾子 (彫刻家)	23cm角の江持石を、ノミ及び電動ルーターで、身の回りにある形をテーマに彫った	中学生以上	3,500	15	18	13
		3月15日(土) 10:30～17:00							
		3月16日(日) 10:30～17:00							
							85	167	82

計3回 参加者延82名

） 美術館を楽しむワークショップ(人が集う「場」作り)

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
四季のみじたく 夏のみじたく 「釉薬いろいろ陶器 のコースター」	6月23日(日) 13:30～17:00	瀬川 辰馬 (陶芸家)	粘土で成形した後、科学実験のように粉を量り混ぜ合わせオリジナル釉薬を作り塗った。焼成は講師が行い後日美術館から各参加者に配送した	小学5年生以上	1,500	20	39	16
美術館をつかまえる!?館内探検と フロッタージュ遊び[A]	8月11日(日) 10:30～12:30	真子 みほ (当館学芸員)	館内を探検しながら様々な場所に紙を当て鉛筆でこすり出す方法(フロッタージュ)を使って、美術館をつかまえた。紙は毛糸で綴じ冊子状にして持ち帰った	5歳～ 小学3年生	100	10	9	9
美術館をつかまえる!?館内探検と フロッタージュ遊び[B]	8月11日(日) 14:00～16:00					10	10	8
美術館をつかまえる!?館内探検と フロッタージュ遊び[C]	8月16日(金) 10:30～12:30					10	14	10
美術館をつかまえる!?館内探検と フロッタージュ遊び[D]	8月17日(土) 10:30～12:30					10	10	9
四季のみじたく 秋のみじたく 「言葉と紙のカラー ジュで作るわたしだけ の「秋の言葉」辞書」	9月29日(日) 13:30～17:00	しおいり あさこ (作家) 尾花 大輔 (グラフィックデザイ ナー)	異なる単語が書かれたカードを組み合わせて言葉遊びをした後、秋の言葉を「あ」から「ん」まで考えた。PCに取り込んでいる間に紙をカラージュして表紙を作り、プリントアウトしたすべての言葉を綴じて辞書を完成させた	小学4年生以上	1,000	20	12	12
四季のみじたく 冬のみじたく 「糸と布 いろいろあ わせてポケットづく り」	11月23日(土) 14:00～17:00	mafuyu (ニット作家)	講師の用意したニットの端切れをもとに、布などを組み合わせてポケットを作り参加者が用意したバックや洋服に縫い付けた	小学4年生以上	1,000	15	15	11
四季のみじたく 春のみじたく 「葉っぱで染めて 糸を刺す」	3月30日(日) 10:30～17:00	奥田 早織 (布作家)	草木染めした糸を使って帯状の布に刺繍し、アクセサリーを作った	小学生以上	500	20	25	18
						115	134	93

計8回 延93名

） その他

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
軽井沢お泊り ワークショップ	11月9日(土) ～10日(日) 1泊2日	横山 さちこ (フラワーアーティスト)	ベルデ軽井沢で一泊二日のリーズ作りのワークショップを行った	小学生 ～大人 (小学生は保護者と共に申込)	大人 9,500 子ども 6,600	20	35	20
商店街を楽し むワークショッ プ	3月28日(金) 10:30～16:00	真子 みほ (当館学芸員)	サンツ中村橋商店街を探検して見つけたもの、気になるものを絵具で大きなフラッグに描き商店街に飾った	小学生 と 保護者	無料	20	17	17
	3月29日(土) 10:30～16:00					20	12	12
						60	64	49

計3回 延49名

館内事業計65回 参加者延3,561名

2 学校関連事業

) **スクールプログラム** 4月にパンフレットを作成し区内小中高等学校に配布。申し込みの際は用紙に記入し送付していただいた。

団体鑑賞

展覧会	日程	内容	学校名	生徒数	引率
牧野邦夫展	5月18日(土) 15:30～17:40		武蔵大学・アートワークショップ履修生	16	1
	5月26日(日) 11:30～12:20		武蔵大学・博物館学履修生	30	1
	5月29日(水) 13:30～14:15		慶應義塾志木高等学校・1年A組	43	1
鹿島茂展	8月8日(木) 10:30～15:30	鑑賞 + ステンシル体験	新座市陣屋放課後児童保育室・1～6年生	43	4
	8月29日(木) 10:00～12:00		練馬区立大泉桜学園・美術部	11	1
宮芳平展	10月4日(金) 10:45～11:30		山崎学園富士見中学校・2年桜組	39	1
	10月4日(金) 13:20～14:05		山崎学園富士見中学校・2年桃組	40	3
	10月8日(火) 10:45～11:30		山崎学園富士見中学校・2年竹組	39	2
	10月8日(火) 11:45～12:30		山崎学園富士見中学校・2年菊組	40	2
	10月8日(火) 14:20～15:05		山崎学園富士見中学校・2年松組	39	2
	10月10日(金) 11:45～12:30		山崎学園富士見中学校・2年梅組	39	3
渡辺千尋展	12月12日(木) 10:30～12:30	鑑賞 + 消しゴムハンコ作り	都立志村学園高等部・1,2年生	2	2
	1月11日(土) 10:00～10:20		練馬区立練馬第三小学校・6年生	68	3
野口哲哉展	2月21日(金) 10:45～12:15		練馬区立練馬第三小学校・5年生	46	3
	2月27日(木) 10:45～12:15		練馬区立練馬第三小学校・4年生	53	4
	3月8日(土) 10:00～15:00	鑑賞 + 新聞紙張り子兜作り	入間市立中央公民館 小学1年生～中学生	26	4
	3月13日(木) 10:00～10:45		練馬区立石神井東小学校・5年生	47	3
				621	40
				計17回 延661名	

施設見学 各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設を紹介した

コース名	日程	事前訪問日程	学校名	生徒数	引率
施設見学	5月21日(火) 13:30～14:30		日本大学芸術学部・博物館実習履修生	60	1
	5月24日(金) 13:30～14:30		日本大学芸術学部・博物館実習履修生		1
	7月6日(土) 16:00～17:00		立教大学・博物館資料保存論履修生	8	1
	11月23日(土) 10:00～10:45		武蔵大学博物館経済論、資料保存論履修生	40	1
	11月23日(土) 11:00～11:45		武蔵大学博物館経済論、資料保存論履修生		1
					108
				計5回 延113名	

職場体験 受付や事務、監視、学芸などいくつかの仕事を体験させ、美術館全体の役割を伝えた

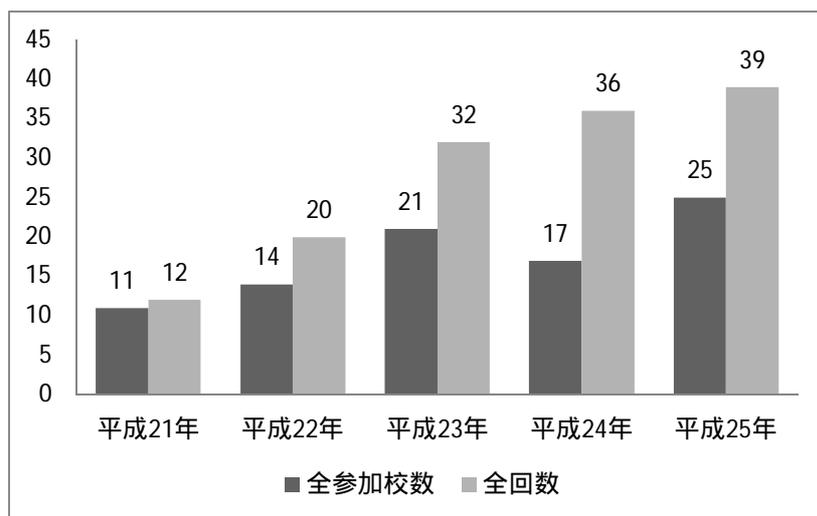
コース名	日程	事前訪問日程	学校名	生徒数	見回り
職場体験	6月25日(木) ～26日(金) 9:30～15:00	6月7日(金)	練馬区立関中学校・2年生	3	1
	6月27日(木) ～28日(金) 9:30～15:00	6月14日(金)	練馬区立石神井西中学校・2年生	1	1
		6月11日(火)	練馬区立光が丘第一中学校・2年生	2	1
	7月2日(火) ～3日(水) 9:30～15:00	6月28日(金)	練馬区立石神井中学校・2年生	3	1
	9月19日(木) ～20日(金) 9:30～15:00	9月13日(金) 15:00～	練馬区立貫井中学校・2年生	3	0
	9月26日(木) ～27日(金) 9:30～15:00	9月18日(水) 15:30～	練馬区立光が丘第三中学校・2年生	2	1
		9月13日(金) 15:00～	練馬区立練馬東中学校・2年生	1	1
	10月24日(木) ～25日(金) 9:30～15:00	9月20日(金) 15:00～	練馬区立開進第四中学校・2年生	2	1
	11月20日(水) ～21日(木) 9:30～15:00	11月7日(木) 15:00～	練馬区立大泉第二中学校・2年生	3	1
	1月15日(水) ～16日(木) 9:30～15:00	1月9日(木) 14:45～	小金井市立緑中学校・1年生	3	1
	1月23日(木) ～24日(金) 9:30～15:00	1月16日(木) 15:30～	練馬区立豊溪中学校・1年生	3	1
	1月23日(木) 9:30～15:00	事前打合せ 12月12日(木) 事前訪問 1月16日(木)	練馬区立中村中学校・1年生	インフルエンザによる学級閉鎖の為中止	
	1月31日(金) 9:30～15:00	1月17日(金) 13:30～	練馬区立大泉学園中学校・1年生	3	1
	2月6日(木) ～7日(金) 9:30～15:00	1月30日(木) 14:00～	練馬区立開進第二中学校・1年生	3	1
				32	12
				計13回 延44名	

職場訪問 生徒が来館しインタビューや館内見学などを行った

コース名	日程	内容	学校名	生徒数	引率
職場訪問	2月6日(木) 13:00～14:30	質疑応答、館内 見学	練馬区立谷原中学校・1年生	5	0
				5	0
				計1回	延5名

出張プログラム 担当者が各学校へ赴き事業を行った

コース名	日程	内容	学校名	生徒数	引率
出張 プログラム	7月24日(水) 14:00～15:30	美術館紹介、団 体鑑賞の事前 準備	新座市陣屋放課後児童保育室・1～6年生	40	
	10月2日(水) 11:45～12:30	団体鑑賞の事 前解説	山崎学園富士見中学校・2年生	246	
	1月11日(土) 10:45～11:30	団体鑑賞後の 版画実演・体験	練馬区立練馬第三小学校・6年生	68	
				354	0
				計3回	延354名



スクールプログラム 計25校39回 参加児童・生徒・学生 延1,177名

）ティーチャーズディ

当館及び当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設けた。各日ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とした。

展覧会名	日程	参加人数
牧野邦夫展	4月23日(火) 15:30～16:30	13
鹿島茂コレクション展	7月23日(火) 15:30～17:00	11
宮芳平展	10月8日(火) 15:30～16:30	15
野口哲哉展 2月18日が大雪の 為延期	3月4日(火) 15:30～16:30	13
		計4回 延52名

）スクールミュージアム

美術館の所蔵作品を学校の授業に役立ててもらうため、紙製のアートカード(トランプ大・1組104枚)、マグネットシート(A4版/A3版)、専用パネルの貸し出しを行った。

これらのツールは、平成18年文化庁芸術拠点形成事業助成を受け、当館の所蔵作品から104点を選出し、作成したものの。

貸出期間	学校名	使用目的	貸出教材し	人数
1月11日(土)～ 2月25日(火)	練馬区立中村西小学校	鑑賞授業	アートカード:12組 マグネットシートA3版:104枚	31
				計1回 31名

）その他

学外活動受け入れ 都立大泉桜高校美術部部員 延22名(引率延3名)

日時	参加プログラム名	活動内容	生徒人数	引率人数
8月9日(金)	13:00～18:00	ぼんぼんステンシル	6名	1名
8月10日(土)		ぼんぼんステンシル	6名	-
8月11日(日)	10:00～17:00	美術館をつかまえる!?	4名	1名
8月25日(日)	10:00～16:00	100年前のChapeau	6名	1名

その他

）団体鑑賞(一般)

展覧会	在館予定	担当	団体名	代表者氏名	参加者
宮芳平展	10月3日(木) 10:15～11:50	喜多	安曇野市豊科近代美術館友の会	齋藤康子	23
渡辺千尋展	1月16日(木) 10:40～12:00	小野	NHK文化センター柏支社	久保安夫(支店長)	22
野口哲哉展	3月2日(土) 11:00～	加藤	アートテラーとに～一行	大山敦士	8
					53
					計3回 延53名

）チャリティコンサート 主催:NPO練馬明るい社会づくりの会

事業名	日程	出演	対象	参加費	定員	申込	参加
東日本大震災復興支援チャリティコンサート	3月6日(木) 15:00～16:00	西江辰郎(ヴァイオリン)・上森祥平(チェロ)・菊地祐介(ピアノ)		無料			133
							計1回 鑑賞者133名

教育普及事業全参加者 計5,032名
(平成24年度 計4,233名)

平成25年度 博物館実習受入実績

実習実施期間:平成25年9月5日(木)～15日(日) <全10日間>
9月9日(月)を除く

No	大学名	学部等	人数
1	実践女子大学	文学部 美学美術史学科	1名
2	女子美術大学	美術学科 日本画専攻	1名
3	立教大学	社会学部 現代文化学科	1名
4	武蔵野美術大学	造形学部 日本画学科	1名
5	東洋英和女学院大学	人間科学部 人間科学科	1名
6	東京学芸大学	教育学部 初等教育教員養成課程 美術専修	1名
7	武蔵大学	人文学部 日本・東アジア比較文化学科	1名
8	共立女子大学	文芸学部 文芸学科 造形芸術専攻コース	1名
9	跡見学園女子大学	文学部 人文学科	1名
10	清泉女子大学	文学部 文学史学科	1名
11	お茶の水女子大学	文教育学部 人文科学科	1名
12	明治学院大学	文学部 芸術学科	1名
合		計	12名

(24年度 13名)

平成25年度 美術館サポーター(ボランティア)活動実績

「美術館サポーター」は、平成17年8月からスタートしたボランティア活動(1年更新)で、美術館事業の一部(チラシ発送作業・新聞資料作成・イベントの手伝い等)を担ってもらっているボランティア活動である。

平成25年7月に第8期が終了し、8月から第9期が始動し、計48人が活動している。平成26年3月からコレクション展で展示解説を再開した。

サポーター活動の実績

平成26年3月31日現在

展覧会等	活動内容	活動日数	延べ人数
牧野邦夫展	会場整理等イベント補助	4日	15名
コレクション展	イベント写真撮影	2日	5名
N+N展	チラシ等発送準備	1日	13名
鹿島茂展	会場整理等イベント補助	3日	8名
宮芳平展	会場整理等イベント補助	1日	4名
区民美術展	会場整理等イベント補助	10日	47名
野口哲哉展	会場整理等イベント補助	4日	17名
ギャラリートーク		4日	20名
練馬区ゆかりの作家調べ		11日	122名
サポーター通信「階(きざはし)」編集		10日	70名
新聞切り抜き資料作成		75日	519名
資料室整理作業		6日	78名
展示解説		1日	12名
合		131日	930名

(平成24年度 151日 991名)

(3) 美術作品の収集事業

平成25年度 美術作品の収蔵状況

(平成26年3月31日現在)

年度	日本画		洋画		版画		工芸		書		彫刻・立体		その他		計		合計
	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	
59	6		9	1			1	2							16	3	19
60	1	1	5	1		1				1					6	4	10
61		7	14	221	14	28								317	28	573	601
62	3	1	32	16	9	1							1	1	45	19	64
63	2	1	15	1	12										29	2	31
1	2		5	48											7	48	55
2	4	1	19	29	4	1									27	31	58
3	2	1	14	13											16	14	30
4	2	1	12	10	18	9									32	20	52
5	2		1	2											3	2	5
6	1	1	15	7		1					1				17	9	26
7	2	4	4	3		1						1			6	9	15
8	1	2	2	9	5	1									8	12	20
9			12	2	1	46									13	48	61
10	3	4	12	21											15	25	40
11		4	12	5		134									12	143	155
12		8		11											0	19	19
13				13											0	13	13
14		29		13											0	42	42
15		1	6	8	12	77									18	86	104
16		65		6											0	71	71
17		6		20											0	26	26
18		30		121		97								8	0	256	256
19		17		40				5				7		7	0	76	76
20		8		31		21									0	60	60
21		8		44		98						13			0	163	163
22		11		168		9								3		191	191
23		8		13								1		123		145	145
24		32		10		33										75	75
25															0	0	0
合計	31	251	189	887	75	525	1	7	0	1	1	21	1	459	298	2185	2483

平成26年3月31日現在
寄託作品 721点

寄贈・寄託計3,204点

平成25年度 収蔵品貸出一覧

宮城県立美術館ほか4施設の展覧会に、11作品の貸し出しを行った。

(主な貸出先)

- ・ 鶴岡政男の「物乞う人」を熊本県立美術館に
- ・ 毛利武彦の「刈る人」ほかを浜松市秋野不矩美術館に
- ・ 靉光の「葡萄」ほかを宮城県立美術館ほかに
- ・ 小林猶治郎の「素描写生行脚」旺玄会（国立新美術館）に
- ・ 松岡映丘の「さつきまつ浜村」を新潟県立近代美術館に

平成25年度美術館収蔵品データベースに対する反響

当美術館では、区のホームページ上に展覧会情報等を掲載している。

また、収蔵美術品をデジタルデータ化し、パソコン端末での管理をはじめ広く学校教育、生涯学習等の現場で利用していただく目的で、平成16年度末(平成17年3月)に整備した。

なお、平成24年度の9月より美術館収蔵品データベースを新システムに変更し、利用者がネットワークを通じて練馬区立美術館の収蔵品を検索ができるようにした。

以下は、平成25年度のWebサーバへのアクセス件数

	美術館トップページ	データベース
4月	10,310件 3位	770件
5月	17,438件 1位	1,266件
6月	8,919件 2位	925件
7月	11,402件 —	981件
8月	11,242件 —	1,025件
9月	7,959件 2位	715件
10月	5,295件 3位	545件
11月	6,782件 2位	739件
12月	4,656件 2位	595件
1月	8,488件 2位	856件
2月	8,433件 —	636件
3月	27,531件 1位	1,407件
合計	128,455件	10,460件
平均	10,705件/月	872件/月
(平成24年度)	138,584件	202,005件)

(4) 施設利用状況

平成25年度 施設利用状況

展示室

区 分	展覧会 回 数	利用日数 (日)	観覧者数 (人)	利用可能日数 (日)	利用率 (%)
一般展示室	45	252	27,697	277	91.0
企画展示室	4	24	3,170	30	80.0
合計	49	276	30,867	307	89.9

創作室

利用団体	利用件数(件)	月平均 件数(件)	利用人数 (人)	利用可能件数 (件)	利用率 (%)
19	376	31	5,518	457	82.3

施設申込状況

区 分		年度総件数	月平均件数	倍 率
一般展示室	申込	88	7.3	最高 3.70倍
	当選	41	3.4	平均 1.96倍
企画展示室	申込	3	-	11・12月の一部貸出 抽選は平成25年6月に 行った。 倍率 1.0倍
	当選	3	-	

展示室の抽選は利用日の6ヶ月前

(5)ぐるっとパスの利用状況

平成 25 年度ぐるっとパスの利用状況

「ぐるっとパス」とは、都内の美術館・博物館や動物園・水族館等の入場券または割引券を 1 冊に綴ったチケットブックのことで、平成 25 年度は 77 か所の施設が対象施設として参加した。当館においても、観覧者と収入の増を見込んで平成 23 年度から参加している。

価格は 1 冊 2,000 円（使用開始日から 2 か月間有効）で、各対象施設や旅行代理店などで販売を行うほか、コンビニエンスストア等でも引換券を販売している。

平成 25 年度は、パス 120 冊(上半期 100、下半期 20)を売り上げた。また、パスの所持者 1,973 人が当館を利用した。

ぐるっとパスの収支

1 支出 . . . 150,525 円

(1) 負担金 150,000 円

(2) 手数料 525 円（上半期売上金を事務局に納入する際の振込手数料）

2 収入 . . . 371,898 円

(1) 販売歩合 売上の 5% @2,000 × 120 冊 × 5% = 12,000 円

(2) 配分金 パス利用の入館者数（1,973 人）に応じた配分金 205,398 円

(3) 負担金返還 150,000 円

(4) 報奨金 4,500 円

収入 - 支出 371,898 - 150,525 = 221,373 円

4 平成26年度事業計画

(1) 展覧会事業

平成26年度 展覧会事業日程

3階展示室			2階展示室		
会期	展覧会名	担当	会期	展覧会名	担当
4月13日 6月8日 <49日間>	【有料】 松林桂月展				加藤
6月13日 6月22日 <9日間>	【無料】 第60回練馬区美術家協会展	渡邊	6月13日	【無料】 コレクション展 シリーズ時代と美術2 1955-70年 大沢昌助(人物の構図)を中心	真子
6月24日 6月29日 <6日間>	(一般貸出)		7月13日		
7月3日 7月13日 <10日間>	【無料】 N+N展2014 「油絵の魅力 -うつくしいいろ・かたち・マティエール- 世代を超えて伝わるもの」	真子	<27日間>		
7月20日 9月21日 <55日間>	【有料】 「あしたのジョー、の時代」展				喜多
9月28日 11月30日 <55日間>	【有料】 「見つめて、シェイクスピア！」展				小野
12月6日 12月28日 <23日間>	(一般貸出)			【無料】 俵 有作展 <51日間>	加藤
1月10日 1月14日 <4日間>	中学校生徒作品展	渡辺	12月6日		
1月17日 1月22日 <5日間>	小学校連合図工展	渡辺	2月8日		
1月24日 1月25日 <2日間>	小中学校連合書きぞめ展	渡辺	<51日間>		
1月31日 2月8日 <8日間>	【無料】 第47回練馬区民美術展	小山			
2月10日 3月31日 <50日間>	収蔵庫改修工事・収蔵作品整理				

没後 50 年 松林桂月展 水墨を極め、画中に詠うー

開催要項

1 開催趣旨

日本画家、松林桂月（1876～1963）は明治・大正・昭和の三つの時代を生き、数々の名作を残した近代を代表する日本画家である。山口・萩に生まれた桂月は、幼い頃から絵を好み、東京に出て文人画家・渡辺華山の孫弟子にあたる野口幽谷に師事し、精緻で格調高い表現を学んだ。また、親しんでいた漢詩の教養を活かして、詩・書・画の三絶の境地を目指す文人画 南画を描いたことも特筆される。桂月は、南画の真髄ともいべき水墨画においては他の画家の追随を許さず、その独特の叙情的な作風は高く評価され、1958年には文化勲章を受章している。本年は、桂月が世を去ってから50年という節目の年に当たる。この半世紀の間に開催された大規模な展覧会は、桂月の没後間もなく門人たちによって開催された遺作展と、1983年に山口県立美術館で開催された「松林桂月 その墨と色彩の妙」展のみで、近年にはその芸術を通覧できる機会はほとんどありません。そのため、桂月の名も、画も、一部の美術愛好家だけが知るところとなりつつあることが惜しまれるところである。本展は、30年ぶりとなる回顧展として、初公開を含む大作、名品で、詩書画の全てに優れた才能を示し、近代にあって水墨画の表現を極めた、桂月の豊かな芸術世界を紹介した。

2 会期

平成26年4月13日（日）～6月8日（日）

* 巡回 山口県立美術館 平成25年8月8日～9月16日

田原市博物館 11月30日～1月13日

3 主催

練馬区立美術館 / 日本経済新聞社

協力＝ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン

4 助成

公益法人 花王芸術・科学財団

5 展示内容

掛軸、屏風、下図、資料ほか 約100点

6 図録

『没後50年 松林桂月展』を制作

（975冊販売、購入比率11%）

7 観覧料

有料

8 イベント

ゲストによるギャラリートーク（野地耕一郎、浅見貴子、加藤良造）講演会（村田隆志）読み語り（銀河万丈 浅田次郎作『江戸残念考』）コンサート（琵琶：荒井靖水、箏：荒井美帆）ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポンコンサート（バイオリン：土谷茉莉子 加藤美菜子 ヴィオラ：小倉萌子 チェロ：山田健文）

9 観覧者

8,985人（183人/日）初見込：12,250人（250人/日）

10 担当

学芸員 加藤陽介

練馬区立美術館コレクション展 シリーズ時代と美術2
「1955～70年 大沢昌助(人物の構図)を中心に」

開催要項

1 開催趣旨

練馬区立美術館の開館30周年に向けたコレクション展の、第2回目を開催した。当館の所蔵品約3,200点(寄託作品含む)は、近現代の日本の作家を中心に収集されてきた。「時代と美術」と名付けたこのシリーズは、作品や作家を単体で眺めるのではなく、それぞれがどのような時代背景の中で生まれ、どのような役割を担ってきたのかという視点を持ち展開していく。今回は1955～70年の高度経済成長期に焦点を当て、大沢昌助を中心に、岡本唐貴、小野木学、小野具定、オノサトシノブ、近藤竜夫、白髪一雄、高山良策、中村宏、牧野邦夫、山口長男らの作品を展示した。

2 会期 平成26年6月13日(金)～7月13日(日)

3 主催 練馬区立美術館

4 内容 絵画、版画、彫刻等 48点

5 図録 リーフレット(A3二ツ折)を作成・無料配布

6 観覧料 無料

7 イベント
ギャラリートーク(2回開催)
鑑賞プログラム「トコトコ美術館」(4回開催)
講師：当館学芸員 対象：3～6歳+保護者
ワークショップ(1回開催)
講師：当館学芸員 対象：小学生～大人

8 観覧者見込 5,282人(196人/日) 当初見込6,750人(250人/日)

9 担当 学芸員 真子みほ

N + N 展 2014

「油絵の魅力 うつくしい いろ・かたち・マティエール 世代を超えて伝わるもの」

開催要項

1 開催趣旨

6 回目を迎える、日本大学芸術学部（日藝）美術学科と練馬区立美術館との共同企画展。今回は、卒業生や教員を含み、現代洋画壇で活躍する油彩画の作家、20 余名による展覧会。各作家は、近作及び初期作品を併せて出品し、これらを並べて展示することで「日藝絵画」に世代を超えて伝わる基軸を視覚的に浮かび上がらせようとする試みとなった。なお、この展覧会は平成 26 年度日本大学芸術学部長指定研究の一環として開催された。

《参加作家》 笠井誠一、赤堀尚、佐藤泰生、石田淳一、蛭子真理央、太田冬美、大庭英治、大山智子、櫻井孝美、瀬島匠、高橋和正、寺久保文宣、福島唯史 他 24 名

- 2 会期 平成 26 年 7 月 3 日（木）～7 月 13 日（日）
- 3 主催 練馬区立美術館 / 日本大学芸術学部美術学科
- 4 内容 油彩画 52 点を展示
- 5 図録 日本大学芸術学部美術学科が記録集を制作した。
- 6 観覧料 無料
- 7 イベント ギャラリートーク、講演会を開催した。
- 8 鑑賞者見込 1,968 人（197 人/日） 当初見込 2,400 人（240 人/日）
- 9 担当 学芸員 真子みほ

「あしたのジョー、の時代」展

開催要項

1 開催趣旨

「あしたのジョー」は、高森朝雄（梶原一騎の別名義）原作、ちばてつやの作画で1967年暮れから1973年まで『週刊少年マガジン』に連載されたボクシング漫画である。連載当初から人気を博し、アニメ化、実写映画化が行われ、連載終了から40年が経過した今なお、新たなファンを獲得し続けている。

主人公「ジョー」こと矢吹丈は、打たれても打たれても決して相手に屈せず、血反吐にまみれながら強敵に立ち向かった。その姿は、大人が作り上げた社会体制の矛盾に対して声をあげる同時代の青年の共感を呼び、一フィクションをこえ、時代のシンボルとして多くの若者の心に受容されていった。

本展では、生身の肉体を武器にし、ギラギラとした生をいきた「あしたのジョー」の作品世界を、ちばてつやによる魅力的な原画の数々から構成し、あわせて本作の受容の様相を紹介する。また、時代の空気を共有した芸術文化の動きをたどることで、「あしたのジョー」をキーワードにこの時代を振り返る。

2 会期 平成26年7月20日(日)～9月21日(日)

3 主催 練馬区立美術館 / 朝日新聞社

4 特別協力 高森篤子、ちばてつやプロダクション、講談社、
協力 トムス・エンタテインメント、虫プロダクション、JAGDA、ACC
協賛 スポーツニッポン新聞社 プラザー販売株式会社
助成 芸術文化振興基金

5 内容 原画約150点、印刷物約100点、美術作品・写真約70点。

6 図録 図録兼書籍として刊行(求龍堂)。

7 観覧料 有料

8 イベント パフォーマンス「力石徹への弔辞」(昭和精吾)、ちばてつや講演会(聞き手 高取英)、読み語り(銀河万丈) ギャラリートーク。

9 鑑賞者見込 19,250人(350人/日)

10 担当 学芸員 喜尋孝臣

見つめて、シェイクスピア！

美しい装丁本と絵で見る愛の世界

開催要項

1 開催趣旨

本年は、16世紀イギリス（イングランド）を代表する劇作家で詩人、ウィリアム・シェイクスピア（William Shakespeare, 1564-1616）の生誕450年にあたる。これを記念して、シェイクスピアをテーマに展覧会を開催する。

本展には、大きく分けて2つの主役が存在するが、そのひとつは約90点にのぼる個性豊かな皮革装丁本である。この皮革装丁本は、世界でも権威あるイギリスの製本装丁家協会「デザイナー・ブックバインダーズ」によって、2013年に開催された「第2回デザイナー・ブックバインダーズ国際製本コンペティション」の入賞作品である。今回のコンペティションのテーマは、「シェイクスピア」。世界中の装丁家たちが、シェイクスピアの作品などから得たイマジネーションに基づき、装丁を施している。

もうひとつの主役は、シェイクスピアの作品に主題を得た絵画作品や挿絵本の数々である。フランス・ロマン主義の旗手、ウジェーヌ・ドラクロワによる版画《ハムレット》やエコール・ド・パリの画家、マルク・シャガールの版画による挿絵本《テンペスト》、またイギリスの挿絵画家アーサー・ラッカムやアーツ・アンド・クラフツのメンバーでもあったウォルター・クレインによる美しい挿絵本などを紹介する。

- 2 会期 平成26年9月28日（日）～11月30日（日）
巡回：滋賀県立近代美術館 平成27年2月7日（土）～4月5日（日）
- 3 主催 練馬区立美術館 / 東京新聞
- 4 後援 ブリティッシュ・カウンシル / 一般社団法人 日英協会 / デザイナー・ブックバインダーズ
- 5 企画協力 マンゴスティン
- 6 展示内容 皮革装丁本、版画、古書（挿絵本）を中心とした約260点
- 7 図録 制作する
- 8 観覧料 有料
- 9 イベント 講演会（河村錠一郎） ワークショップ（デザイナー・ブックバインダーズ、他）
読み語り（銀河万丈） 講演・朗読（劇団山の手事情社）
- 10 観覧者 11,000人（200人/日）
- 11 担当 学芸員 小野寛子

俵有作 幽玄水墨の世界展（仮称）

開催要項

1 開催趣旨

^{たわらゆうさく}
俵有作（1932～2004）は日本の古玩具・古民具の収集家であり、何冊もの研究書を上梓した古玩具研究者として一面と共に、水墨を基調としたドローイング作品を発表し続けた作家である。絵は独学で学んだものの、芹沢銈介や猪熊弦一郎らに愛された彼の作品は、あるものは書を想起させ、またあるものは山水画、そして仏画をイメージさせる。

ダヴィンチを慕い、南宋山水画に遊び、アンリ・ミショーを想う…。
静かなる観念世界を墨の濃淡と微妙な筆致で現出させる稀有な美術家であると言えよう。

練馬区に長年暮らした、ゆかりの作家ではあるものの、国内よりむしろ海外で高い人気と評価を得ており、今回の展示も米国・インディアナポリス美術館、ヒューストンのアジア・ソサエティを巡回しての凱旋展であると同時に、国内の美術館では初めての展覧会である。

- 2 会期 平成26年12月6日(土)～平成27年2月8日(日)
- 3 主催 練馬区立美術館
- 4 展示内容 掛軸、リトグラフ、資料ほか 約50点
- 5 図録 リーフレット作成
- 6 観覧料 無料
- 7 イベント ゲストによるギャラリートーク（尾久彰三）講演会ほか
- 8 観覧者見込み 12,750人（250人/日）
- 9 担当 学芸員 加藤陽介

(2) 教育普及事業

平成26年度 教育普及事業計画

1 館内事業

) 展覧会関連 (各展覧会を楽しむ)

関連ワークショップ・講座

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
1	コレクション展関連ワークショップ 講師:当館学芸員	6月29日(日) 13:30~17:00	1	小学生 ~大人	20名	9名
2	あしたのジョー、の時代展関連ワークショップ	8月	8	小学生	各15~ 20名	
3	見つめて、シェイクスピア!展関連 「皮革装丁ワークショップ」	未定	2	小学生 ~大人	未定	

ギャラリートーク

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
1	松林桂月展	5月25日(日)、31日(土)	4	自由参加		145名
2	コレクション展	6月14日(土)、28日(土)	2	自由参加		50名
3	N+N展	7月5日(土)15:30~17:00	1	自由参加		140名
4	あしたのジョー、の時代展	8月23日、9月6日、13日(土)	3	自由参加		
5	俵有作展	未定	3	自由参加		

コンサート・ライブパフォーマンス

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
1	松林桂月展関連 琵琶と琴のコンサート	4月19日(土) 15:00~	1	自由参加		117名
2	松林桂月展関連 ラ・フォル・ジュルネコンサート	4月26日(土) 15:00~	1	自由参加		115名
3	銀河万丈読み語り	松林展、あしたのジョー展、 シェイクスピア展	3	中学生 以上	各70名	
4	あしたのジョー、の時代展関連 パフォーマンス 昭和 精吾(元劇団天井棧敷団員)	8月3日(日) 15:00~	1	自由参加		

鑑賞プログラム

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
1	トコトコ美術館 テーマ:赤	6月22日(土)・23日(日) 10:30~11:30、14:00~15:00	4	3歳~6歳 +保護者	各回 5組	19組 41名
2	トコトコ美術館 テーマ:未定	1月	4	3歳~6歳 +保護者	各回 5組	

講演会など

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
1	松林桂月記念講演会「最後の南画家 松林桂月の人と芸術」 講師:松田隆志(大阪国際大学専任講師)	5月10日(土)	1	中学生 以上	70名	72名
2	N+N展関連講演会「油絵のメカニズムと技法と材料のコツ」 講師:三浦高宏(日本大学芸術学部講師)	7月12日(土) 14:00~15:30	1	中学生 以上	60名	53名
3	「ちばてつや、あしたのジョーを語る」 講師:ちばてつや(漫画家)、高取 英(劇作家・マンガ評論家)	8月9日(土) 15:00~	1	中学生 以上	70名	

4	見つめて、シェイクスピア！展関連講演会 講師：河村 錠一郎(英文学者)	10月18日(土) 14:30～16:00	1	中学生 以上	70名	
5	見つめて、シェイクスピア！展関連講演会&朗読 講師：安田雅弘(劇団山の手事情社主宰・演出家)、倉品淳子(劇団山の 手事情社俳優)	11月22日(土) 14:30～16:00	1	中学生 以上	70名	

）美術講座（美術に関する知識を学ぶ）

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
1	美術講座 日本美術史「浮世絵の美人画、喜多川歌麿」 講師：加藤 陽介（当館学芸員）	9月13日(土) 14:00～15:30	1	中学生 以上	70名	
2	美術講座 日本美術史「仏像」 講師：小倉 絵里子（高崎市タワー美術館学芸員）	11月1日(土) 14:00～15:30	1	中学生 以上	70名	
3	美術講座 西洋美術史「印象派」 講師：小野 寛子（当館学芸員）	未定	1	中学生 以上	70名	
4	美術講座 日本刺繍「ミニ額絵を作る」 講師：宗 真理子（刺繍家）	9月21日・10月5日、19日(日) 10:30～17:00	1 (3日間)	中学生 以上	20名	
5	美術講座 版画「ガリ版」 講師：齋藤 美穂子（町田市立国際版画美術館普及係学芸員）	10月11日(土)～12日(日) 10:30～17:00	1 (2日間)	中学生 以上	20名	

）美術館を楽しむワークショップ(人が集う「場」作り)

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
1	四季のみじたく シリーズ①夏のみじたく 講師：前田 真理子（アクセサリーデザイナー）	7月6日(日) 10:30～17:00	1	小学4年生 以上	20名	21名
2	美術館をつかまえる!?館内探検とフロッターージュ遊び	8月21日(土)、22日(日) 10:30～12:30、14:00～16:00	4	5歳～ 小学3年生	各回 10名	
3	四季のみじたく シリーズ②秋のみじたく 講師：宮園 夕加（ボタンデザイナー）	10月4日(土) 13:30～17:00	1	小学4年生 以上	20名	
4	四季のみじたく シリーズ③冬のみじたく 講師：米山 知歩（こぎん刺し作家） 予定	11月	1		20名	
5	四季のみじたく シリーズ④春のみじたく 講師：nido（スタンドグラスユニット）	2月8日(日) 10:30～12:30、14:00～15: 00	1		20名	

）その他

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加者
1	スタンウェイ・スクエアピアノ寄託記念コンサート	8月2日(土) 15:00～16:00	1	自由参加		120
2	軽井沢お泊りワークショップ 講師：未定 ベルデ軽井沢で行う1泊2日のワークショップ2回目。	10月25日(土) ～26日(日)	1 (2日間)	小学生 以上	20名	
3	商店街を楽しむワークショップ(予定)	未定	2	小学生	各回 20名	

2 学校関連事業

）スクールプログラム パンフレットを作成し各学校に配布。

団体鑑賞 美術館担当者がマナーの説明や展示解説を行い鑑賞のお手伝いをする

施設見学 各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設を紹介する

職場体験・訪問 受付や事務、監視、学芸などいくつかの仕事を体験させ、美術館全体の役割を伝える

出張プログラム 担当者が学校へ赴きコレクションや開催中の展覧会に関連した授業のお手伝いをする

）ティーチャーズディ

当館及び当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中高等学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設ける。各日ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とする。

平成26年度は5回開催する。

	展 覧 会 名	開催予定日	参加者
1	松林桂月展	4月15日(火)	20名
2	コレクション展	6月17日(火)	12名
3	あしたのジョー、の時代展	7月29日(火)	12名
4	見つめて、シェイクスピア！展	9月30日(火)	
5	俵有作展	12月9日(火)	

）スクールミュージアム

美術館の所蔵作品を学校の授業に役立ててもらうため、紙製の図版カード(トランプ大)、マグネットシート(A4版/A3版)、専用パネルの貸し出しを行う。これらのツールは、平成18年文化庁芸術拠点形成事業助成を受け、当館の所蔵作品から104点を選出し、作成された。

(3) 美術作品の収集事業

平成26年度 美術作品の収蔵状況

(平成26年5月29日現在)

年度	日本画		洋画		版画		工芸		書		彫刻・立体		その他		計		合計
	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	
59	6		9	1			1	2							16	3	19
60	1	1	5	1		1				1					6	4	10
61		7	14	221	14	28								317	28	573	601
62	3	1	32	16	9	1							1	1	45	19	64
63	2	1	15	1	12										29	2	31
1	2		5	48											7	48	55
2	4	1	19	29	4	1									27	31	58
3	2	1	14	13											16	14	30
4	2	1	12	10	18	9									32	20	52
5	2		1	2											3	2	5
6	1	1	15	7		1					1				17	9	26
7	2	4	4	3		1						1			6	9	15
8	1	2	2	9	5	1									8	12	20
9			12	2	1	46									13	48	61
10	3	4	12	21											15	25	40
11		4	12	5		134									12	143	155
12		8		11											0	19	19
13				13											0	13	13
14		29		13											0	42	42
15		1	6	8	12	77									18	86	104
16		65		6											0	71	71
17		6		20											0	26	26
18		30		121		97								8	0	256	256
19		17		40				5				7		7	0	76	76
20		8		31		21									0	60	60
21		8		44		98						13			0	163	163
22		11		168		9								3		191	191
23		8		13								1		123		145	145
24		32		10		33										75	75
25															0	0	0
26		2	1	8		139								4	1	149	150
合計	31	253	189	895	75	697	1	7	0	1	1	21	1	463	298	2334	2633

平成26年5月26日現在
寄託作品 1466 点

寄贈・寄託計4,099点

(3) 美術作品の収集事業

平成26年度 美術作品取得状況

平成25年度分 練馬区立美術館寄贈・寄託リスト

平成26年度第一回資料収集委員会：平成26年5月29日開催承認による

(1) 購入

No	作者名	作品名	制作年	材質技法	形状	サイズ(cm)
1	牧野邦夫	雑然とした部屋		油彩・キャ	額	116.0×91.0

(2-1) 寄贈作品

No	作者名	作品名	制作年	材質技法	形状	サイズ(cm)
1	牧野邦夫	ひん曲がった部屋	1963	油彩・キャ	額	60.0×72.0
2	牧野邦夫	自画像	1963	油彩・紙	額	60.0×68.0
3	牧野邦夫	インパール(高木俊朗作品より)	1980	油彩・キャ	額	162.0×130.0
4	塩出英雄	晩秋の疎林	1942頃	紙本着色	額	115.8×87.3
5	塩出英雄	濡れ縁の少女	1942頃	紙本着色	まくり2枚	各180.1×
6	野間傳治	『楽園の喪失』 サタンと戦うキリスト		紙に銅版	まくり	48.5×38.0
7	野間傳治	『楽園の喪失』 エバを誘惑するサタン		紙に銅版	まくり	48.5×37.5
8	野間傳治	『楽園の喪失』 アダムとエバ		紙に銅版	まくり	48.5×37.5
9	野間傳治	『楽園の喪失』 アダムのとエバ		紙に銅版	まくり	48.5×37.0
10	野間傳治	『楽園の喪失』 楽園追放		紙に銅版	まくり	48.5×37.6
11	野間傳治	『楽園の喪失』 宇宙の外辺に着いた		紙に銅版	まくり	47.6×37.0
12	野間傳治	『楽園の喪失』 地獄に落ちたサタン		紙に銅版	まくり	48.0×37.2
13	野間傳治	『楽園の喪失』 楽園の喪失 解説		紙に銅版	まくり	48.0×37.5
14	野間傳治	『楽園の回復』 饗宴の誘惑を受ける		紙に銅版	まくり	37.5×29.8
15	野間傳治	『楽園の回復』 デリラの訪問を告げら		紙に銅版	まくり	37.0×30.0
16	野間傳治	『楽園の回復』 ダゴン神殿のサムソン		紙に銅版	まくり	37.5×29.8
17	野間傳治	『楽園の回復』 サタンの落下		紙に銅版	まくり	37.0×29.5
18	野間傳治	鳥		紙に銅版	まくり	42.0×32.0
19	野間傳治	鳥		紙に銅版	まくり	42.0×32.0
20	野間傳治	踊り		紙に銅版	まくり	45.5×36.0
21	野間傳治	踊り		紙に銅版	まくり	45.5×36.0
22	野間傳治	踊り		紙に銅版	まくり	45.5×36.0
23	野間傳治	天使と子供と		紙に銅版	まくり	41.8×32.0
24	野間傳治	The Indian Ocean		紙に銅版	まくり	51.1×40.5
25	野間傳治	無題		紙に銅版	まくり	43.0×53.5
26	野間傳治	The Nest Changed Color	1965	紙に銅版	まくり	28.1×42.5
27	野間傳治	The Nest 63-12	1963	紙に銅版	まくり	41.8×62.5
28	野間傳治	憶い出		紙に銅版	まくり	96.0×68.0
29	野間傳治	無題(流れ)		紙に銅版	まくり	47.7×63.7
30	野間傳治	自画像		紙に銅版	まくり	45.5×34.0
31	野間傳治	男と影		紙に銅版	まくり	47.5×36.5
32	野間仁根	魚二匹(仮題)1		紙に銅版	まくり	32.0×41.0
33	野間仁根	魚二匹(仮題)2		紙に銅版	まくり	30.0×40.0
34	野間仁根	魚二匹(仮題)3		紙に銅版	まくり	30.0×40.0
35	野間仁根	魚二匹(仮題)4		紙に銅版	まくり	29.0×39.5
36	野間仁根	魚二匹(仮題)5		紙に銅版	まくり	32.0×41.0
37	野間仁根	魚二匹(仮題)6		紙に銅版	まくり	32.0×41.0
38	野間仁根	魚二匹(仮題)7		紙に銅版	まくり	32.0×41.0
39	野間仁根	獅子(仮題)1		紙に銅版	まくり	30.0×39.5
40	野間仁根	獅子(仮題)2		紙に銅版	まくり	32.0×41.0
41	野間仁根	獅子(仮題)3		紙に銅版	まくり	32.0×41.0
42	野間仁根	獅子(仮題)4		紙に銅版	まくり	32.0×41.0
43	野間仁根	獅子(仮題)5		紙に銅版	まくり	32.0×41.0
44	野間傳治	版画集『女』 蝶と花		紙に銅版	まくり	36.0×28.3
45	深沢幸雄	版画集『女』 哀愁(メヒコ)		紙に銅版	まくり	34.5×27.2
46	田村文雄	版画集『女』		紙に銅版	まくり	43.0×33.5
47	小林ドンゲ	版画集『女』		紙に銅版	まくり	35.3×26.0

48	吉田穂高	版画集『女』		紙に銅版	まくり	47.0×37.0
49	勝呂忠	教会	1950	油彩	画布	97.0×162.0
50	本橋雅美	夏雲	2009	銅板(メゾ)	額	74.0×118.0
51	本橋雅美	フランチェスコの庭にて八羽の鳥 驚	2007	銅板(メゾ)	額	38.0×101.0
52	本橋雅美	風景 - 万物にとっても慌ただしき朝	2005	銅板(メゾ)	額	35.0×90.0
53	本橋雅美	立葵	2004	銅板(メゾ)	額	45.0×90.0
54	本橋雅美	アッシジの庭 -鳥の遊ぶフランチェス	2003	銅板(メゾ)	額	30.0×90.0
55	本橋雅美	鳥 - フランチェスコの庭のような -	2000	銅板(メゾ)	額	30.0×90.0
56	本橋雅美	野 - アッシジのフランチェスコの庭	2000	銅板(メゾ)	額	30.0×90.0
57	本橋雅美	野 それぞれの季節	1999	銅板(メゾ)	額	45.0×90.0
58	本橋雅美	鳥 - フランチェスコの森のような -	c.a.1999	銅板(メゾ)	額	31.0×91.0
59	本橋雅美	麦 秋	1998	銅板(メゾ)	額	45.0×90.0
60	本橋雅美	春	1997	銅板(メゾ)	額	22.0×72.0
61	本橋雅美	夏の終わり	1996	銅板(メゾ)	額	30.0×93.0
62	本橋雅美	はやにえのある風景	1995	銅板(メゾ)	額	30.0×93.0
63	本橋雅美	初夏 立葵	2005	銅板(メゾ)	額	22.0×14.5
64	本橋雅美	花と洋梨	制作年不	銅板(メゾ)	額	25.0×20.0
65	本橋雅美	花	制作年不	銅板(メゾ)	額	19.5×14.5
66	本橋雅美	葡萄	1990	銅板(メゾ)	額	59.0×41.0
67	本橋雅美	灯火	制作年不	銅板(メゾ)	額	32.0×19.0
68	本橋雅美	二匹の蝶にとっての静物空間	c.a.1992	銅板(メゾ)	額	45.0×34.0
69	本橋雅美	卓上の静物	制作年不	銅板(メゾ)	額	36.5×43.0
70	本橋雅美	静物	1987	銅板(メゾ)	額	45.0×60.0
71	本橋雅美	葡萄と器物のある空間	c.a.1992	銅板(メゾ)	額	30.0×42.0
72	本橋雅美	蝶にとっては宇宙空間	c.a.1992	銅板(メゾ)	額	45.0×59.0
73	本橋雅美	瞬時	1992	銅板(メゾ)	額	59.0×45.0
74	本橋雅美	かすみ草	1998	銅板(メゾ)	額	19.0×13.5
75	本橋雅美	蝶舞	1998	銅板(メゾ)	額	18.5×13.5
76	本橋雅美	かすみ草	制作年不	銅板(メゾ)	額	19.0×13.5
77	本橋雅美	蝶	制作年不	銅板(メゾ)	額	22.5×13.0
78	本橋雅美	瓶と蝶	1992	銅板(メゾ)	額	22.0×13.0
79	本橋雅美	アスパラガス	2002	銅板(メゾ)	額	6.0×5.0
80	本橋雅美	瓶と葡萄	制作年不	銅板(メゾ)	額	15.5×14.5
81	本橋雅美	花と蝶	制作年不	銅板(メゾ)	額	20.0×13.0
82	本橋雅美	ボトルの上の蝶	制作年不	銅板(メゾ)	額	12.5×12.0
83	本橋雅美	二匹の蝶にとっての静物空間	制作年不	銅板(メゾ)	額	14.0×14.5
84	本橋雅美	コップの上の蝶	制作年不	銅板(メゾ)	額	15.5×14.5
85	本橋雅美	季節	制作年不	銅板(メゾ)	額	7.3×5.3
86	本橋雅美	蝶と輪	c.a.1992	銅板(メゾ)	額	15.0×10.5
87	本橋雅美	芥子と蝶	制作年不	エッチング	額	19.5×14.5
88	本橋雅美	芥子と蝶	制作年不	エッチング	額	14.5×19.5
89	本橋雅美	椿	制作年不	銅板(メゾ)	額	7.5×6.0
90	本橋雅美	鶴	制作年不	銅板(メゾ)	額	7.5×6.0
91	本橋雅美	夏雲 - 雀	制作年不	銅板(メゾ)	額	6.0×7.5
92	本橋雅美	塔と蝶	制作年不	銅板(メゾ)	額	7.5×6.0
93	本橋雅美	燭	制作年不	銅板(メゾ)	額	20.0×12.0
94	本橋雅美	コルク	制作年不	銅板(メゾ)	額	5.0×10.0
95	本橋雅美	山茶花	制作年不	銅板(メゾ)	額	6.5×6.0
96	本橋雅美	葡萄の上でジャンプを試す虫	c.a.1992	銅板(メゾ)	額	7.0×7.0
97	本橋雅美	蝶	制作年不	銅板(メゾ)	額	7.0×7.5
98	本橋雅美	教会	制作年不	銅板(メゾ)	額	8.0×7.5
99	本橋雅美	鴉	制作年不	銅板(メゾ)	額	6.0×7.5
100	本橋雅美	大聖堂	制作年不	銅板(メゾ)	額	7.0×7.0
101	中村宏	オッペシ(部分)	1953年	アクリル	キャンバス	
102	中村宏	図鑑2 背後(部分)	2006年	アクリル	キャンバス	
103	平澤熊一	麻生氏	1944年頃	紙に鉛筆	まくり	33.5×24.0
104	平澤熊一	芥川永(右向き)	1945年	紙に鉛筆	まくり	39.5×27.5
105	アンドレ・マルティ	スカーナの夕べ:ドゥイエのアフタヌー	1913年10	ポシヨワー	版画1枚	24.7×19.0
106	アンドレ・マルティ	乳姉妹:ドゥイエのアフタヌーンドレス	1914年	ポシヨワー	版画1枚	24.7×19.0
107	アンドレ・マルティ	やるせない心...:公園のドレス(ガゼッ	1914年7月	ポシヨワー	版画1枚	24.7×19.0
108	アンドレ・マルティ	そらっ!:ダンスのためのアフタヌーン	1921年	ポシヨワー	版画1枚	24.7×19.0

109	ジョルジュ・バルビエ	ほら、お花に、フルーツに、葉っぱぞ	1913年(ポシヨワー	版画1枚	24.7×19.0
110	ジョルジュ・バルビエ	一人にしておいて！(フィエ・ダールよ	1919年	ポシヨワー	版画1枚	33.0×26.4
111	アンドレ・マルティ	カリスト ディアナの小さなニンフ	1944年	カラー写	冊子	27.3×20.5
112	アンドレ・マルティ	青い鳥	1945年	ポシヨワー	冊子	20.3×14.3
113	アンドレ・マルティ	楽譜『ゴベイ薬学研究所』2種	1920年代	写真製版	版画各1枚	24.1×15.7
114	淀井 彩子	芭蕉・時間		カーボラン	8点	
115	淀井 彩子	KATACHI・ブルー		カーボラン	2点	
116	淀井 彩子	石偶		カーボラン	2点	
117	淀井 彩子	土地の時間		アクアチン	3点	
118	淀井 彩子	COMPOSITION Biue(1)、Orange、		コラグラフ	7点	
119	淀井 彩子	武蔵野台地		コラグラフ	2点	
120	淀井 彩子	庭ー赤い形、草、雨		アクアチン	3点	
121	淀井 彩子	芭蕉・スケッチ		ソフトグラ	4点	
122	淀井 彩子	南の時間-神話		エッチン	4点	
123	淀井 彩子	南の時間-植物		エッチン	3点	

(2-2)寄贈資料 なし
(3-1)寄託作品

No	作者名	作品名	制作年	材質技法	形状	サイズ(cm)
1	荒川修作	THE UNRECGINZABLE	1974	アクリル・		195.5×279.5
2	斎藤義重	Black Box 8	1991	ラッカー・		80.0×65.0×
3	鶴田吾郎	バルト海の乙女	1930	紙に水彩	額	23.0×30.0
4	牧野邦夫	天守物語 (泉鏡花作品より)	1978	油彩・キャ	額	130.0×97.0
5	牧野邦夫	天守物語 (泉鏡花作品より)	1978	油彩・キャ	額	130.0×97.0
6	牧野邦夫	節子肖像	1959	油彩・紙	額	53.0×45.0
7	牧野邦夫	アムステルダム	1960	油彩・キャン	額	60.0×45.0
8	牧野邦夫	ピロードの上の静物	1961	油彩・板	額	57.0×56.0
9	牧野邦夫	ギターを弾いて歌う人達	1961	油彩・キャン	額	65.0×53.0
10	牧野邦夫	メス犬チビの肖像	1961	油彩・キャン	額	45.0×38.0
11	牧野邦夫	マドリッド	1961	油彩・キャン	額	53.0×45.0
12	牧野邦夫	ビル (日比谷大ビル)	1967	油彩・キャン	額	45.0×53.0
13	牧野邦夫	デッサン「笛を吹く俊一郎」	1975頃	鉛筆、水	額	51.0×36.7
14	牧野邦夫	古い木の傍	1951	油彩・キャン	額	24.3×33.4
15	牧野邦夫	自画像	1955	油彩・紙	額	80.0×60.0
16	牧野邦夫	武装する自画像	1955	油彩・キャン	額	65.0×52.0
17	牧野邦夫	自画像	1959	油彩・キャン	額	24.3×33.4
18	牧野邦夫	原題不詳(横向きの自画像)	1962	油彩・紙	額	47.0×44.5
19	牧野邦夫	食卓の自画像		油彩・キャン	額	60.3×72.5
20	牧野邦夫	街はずれの公園	1961	油彩・紙	額	32.0×52.0
21	牧野邦夫	王の椅子	1965	油彩・キャン	額	27.0×22.0
22	牧野邦夫	自画像	1981	油彩・板	額	33.0×24.0
23	グランヴィル	「鹿島茂コレクション1 グランヴィル-	1827-87	リトグラフ	版画、書籍	各々
24	バルビエノラブ	「鹿島茂コレクション2 バルビエノラ	1897-1959	エッチング	版画、書籍	各々
25	オーラス・ヴェル	「鹿島茂コレクション3 モダン・パリの	1797 -	エッチング	版画、書籍	各々

(3-2)寄託資料

No	作者名	作品名	制作年	材質技法	形状	サイズ(cm)
1	小野具定	スケッチブック(153冊)一括		紙	冊子	大版15冊、中

5 練馬区立美術の森緑地整備工事および美術館の展示等の予定について

区立美術館に隣接する美術の森緑地について「練馬区立美術の森緑地整備基本構想」(平成25年2月)に基づく整備工事を実施する。併せて、工事期間中に収蔵品の整理等を実施するため、美術館の予定について報告する。

1 美術の森緑地の整備工事について

(1) 整備工事等の概要(別紙1)

壁泉を撤去のうえ、美術館へのメインエントランスとなる園路(幅員3m)を整備し、出入口に植物でクマを造形した作品(モザイカルチャー)を設置する。

陶板舗装を撤去のうえ芝生を植栽し、動物等の彫刻30点を屋外展示する。

生育不良等の樹木を整理し、新たに低木や地被類を植栽する。

彫刻の保全、園内の安全・安心のため、出入口車止めや緑化した囲い柵、監視カメラを設置する。

東京中高年齢労働者福祉センター(サンライフ練馬)隣接部の植栽等は工事期間内に別途工事により実施する予定。

(2) 工事等の予定

工期 平成26年10月～平成27年3月

供用 平成27年3月末(開園式典は4月初旬に予定)

彫刻制作 日本大学芸術学部へ委託して制作中(別紙2)

(3) 工事中の安全確保等

工事範囲を仮設フェンスで囲う。美術館へは園路の切り回しにより、出入りの仮設通路を企画展終了(平成27年2月8日予定)まで設置する(別紙3)。

2 美術館の予定について

(1) 展示

平成26年9月28日～11月30日 「見つめて、シェイクスピア!」展

平成26年12月6日～平成27年2月8日(仮称)「俵有作 幽玄水墨の世界展」

平成27年4月5日～ 美術館開館30周年記念特別展

(2) 収蔵品整理等

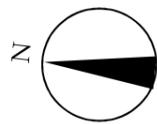
美術の森緑地の工事後半に、館内収蔵庫に保管している収蔵品の分類、整理(額装、収納箱の入れ替え)を館内の展示室を利用して行う。併せて収蔵庫の棚を増設し、収蔵能力の向上を図る。このため、創作室は可能な限り貸

出しを継続するが、平成27年2月10日から開館30周年記念特別展開会(4月5日を予定)まで一般展示室等の貸出しおよび館内利用を一時中止する。

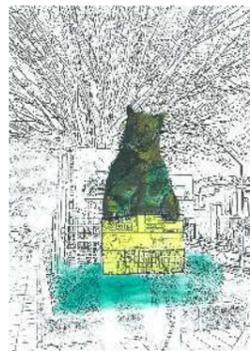
3 周知

美術の森緑地の整備工事および館内の施設利用の一時中止について、ねりま区報、区ホームページおよび美術館内外にポスター等を掲出して周知を図る。

美術の森緑地 計画平面図および主な展示彫刻等のイメージ図



キリン



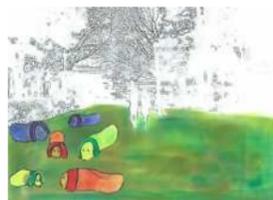
クマ



ライオン



ネリマーマダイコン



イヌ



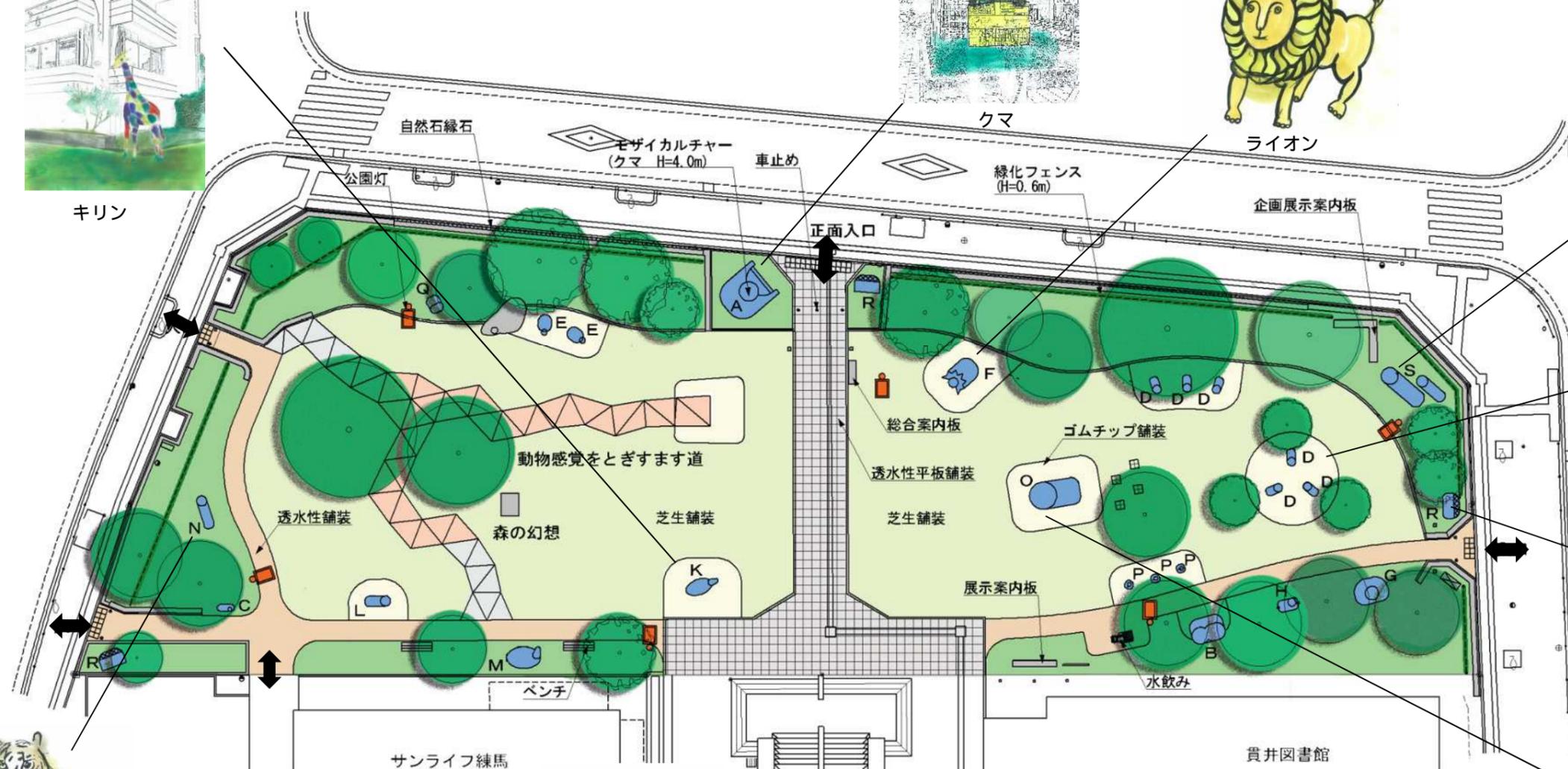
ネリビー

(美術館ロゴマークをデザインした誘導表示を兼ねる展示)



ゾウ

別紙 1



トラ



写るもの

図書館東側出入口へ(1階)

美術館出入口へ

作品一覧

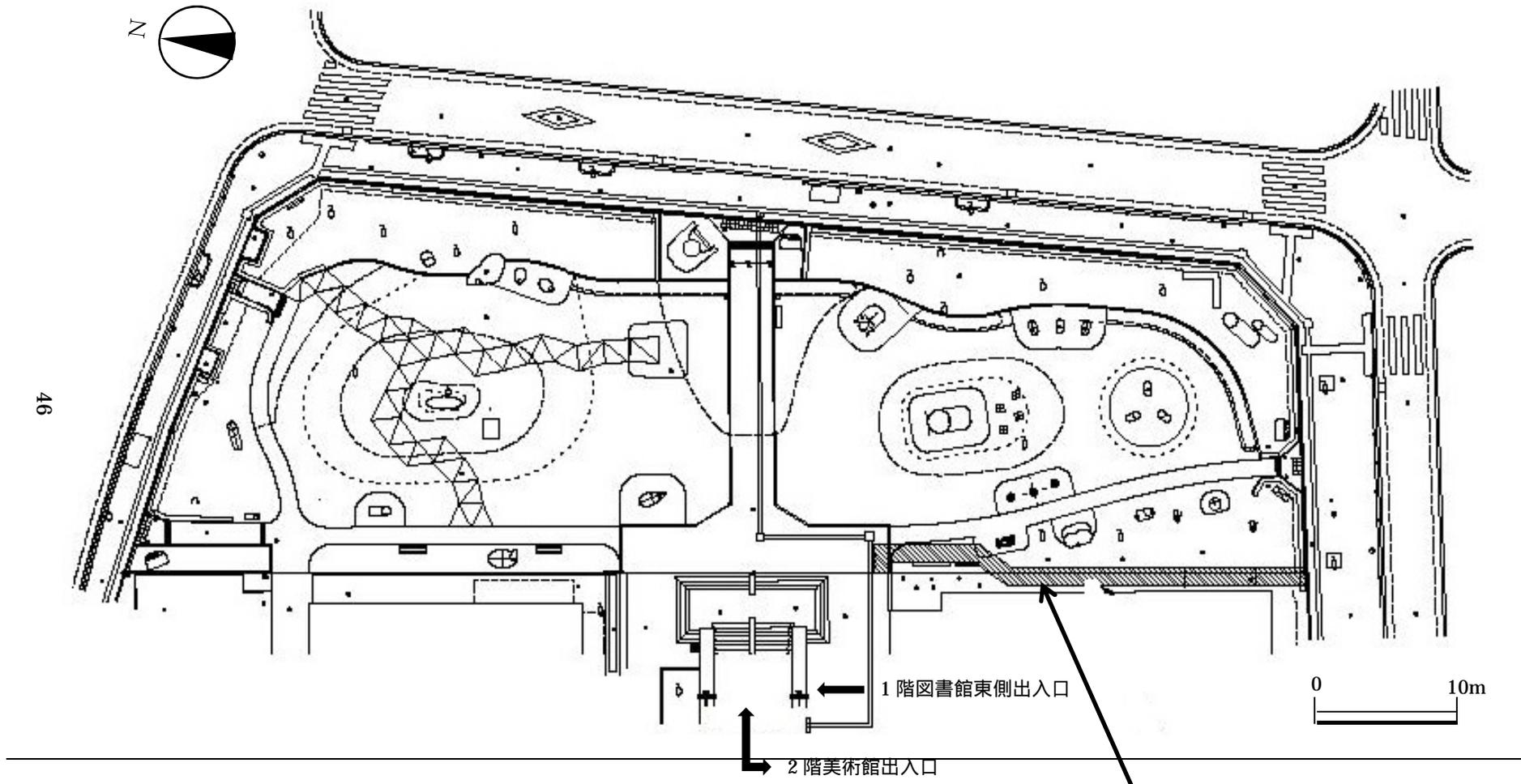
A	クマ
B	キノコ
C	ヘビ
D	イヌ
E	カメ
F	ライオン
G	ゴリラ
H	サル
I	トンボ

J	写るもの
K	キリン
L	ネコ
M	トカゲ
N	トラ
O	ゾウ
P	ペンギン
Q	カエル
R	ネリビー
S	ネリマーマダイコン

制作中の動物彫刻原型クレイモデル(縮小模型)の一部



仮設通路設置予定箇所図



アスファルト舗装 幅員 180cm
(工事開始時～平成 27 年 2 月 8 日を予定)

6 練馬区立美術館の指定管理者候補の選定手続きについて

平成27年4月から指定管理者による管理を開始する予定である練馬区立美術館の指定管理者の選定手続きについて、つぎのとおり報告します。

1 指定の期間

平成27年4月1日から平成32年3月31日まで（5年間）

2 選定の対象とする団体

公益財団法人練馬区文化振興協会

所在地 練馬区練馬一丁目17番37号

代表者 理事長 高橋 覺

3 指定管理者選定手続きの予定

美術館の指定管理者選定に関する手続きを担う「練馬区立美術館指定管理者選定小委員会」において、対象団体の企画書等提出書類、プレゼンテーション、税理士による団体経営診断結果等をもとに評価し、さらに選定委員会において、選定小委員会からの評価結果の報告をもとに審議し、指定管理者候補を選定します。

なお、指定管理者の指定につきましては、平成26年第四回練馬区議会定例会へ提案する予定です。